

DRUG

INFORMATION

2004 No. 13

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線7083）

平成16年7月2日発行

目 次

- 1 . 医薬品の採用・採用中止について 1
 - 平成 16 年 7 月 1 日の薬事委員会結果 -
- 2 . 新規院内処方医薬品について 3

Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。

<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/index.htm>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。

yaku@cc.gifu-u.ac.jp

医薬品の採用・採用中止について

院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アーチスト錠(カルベジロール)	2.5mg/錠	持続性高血圧・狭心症治療剤	第一
エビスタ錠(塩酸ラロキシフェン)	60mg/錠	骨粗鬆症治療剤	中外
オキシコンチン錠(塩酸オキシコドン)	40mg/錠	持続性癌疼痛治療剤	塩野義
ファロムドライシロップ(ファロペネムナトリウム)	100mg/g	ペネム系抗生物質製剤	山之内
ムコスタ顆粒(レバミピド)	200mg/g	胃炎・胃潰瘍治療剤	大塚
キューパール 100 エアゾール(プロピオン酸ベクロメタゾン)	8.7g/瓶	吸入ステロイド喘息治療剤	大日本
ブロメライン軟膏(ブロメライン)	[5万70マイクログラム単位/g] 20g/本	壊死組織除去剤	マルホ
ボルヒール	3mL/セット	生体組織接着剤	藤沢
AK - ソリタ・DL	A 剤: 9L, B 剤: 11.5L	人工腎臓用透析液	味の素ファルマ
ノボラピッド 30 ミックス注フレックスペン(インスリンアスパルト)	300 単位/3mL/キット	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ブレベノン注シリンジ(塩酸モルヒネ)	100mg/10mL/筒	癌疼痛治療剤	武田
ボトックス注(A 型ボツリヌス毒素)	100 単位/V	A 型ボツリヌス毒素製剤	アラガン
リュープリン注射用キット(酢酸リュープロレリン)	1.88mg/キット	LH-RH 誘導体制剤	武田

院内採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ミカルディスカプセル(テルミサルタン)	40mg/Cp	アンジオテンシン 受容体拮抗剤	ベーリンガー・インゲルハイム
ニコチネル TTS(ニコチン)	17.5mg/10cm ² /枚	経皮吸収ニコチン製剤	ノバルティスファーマ
ニコチネル TTS(ニコチン)	35mg/20cm ² /枚	経皮吸収ニコチン製剤	ノバルティスファーマ
ニコチネル TTS(ニコチン)	52.5mg/30cm ² /枚	経皮吸収ニコチン製剤	ノバルティスファーマ
グランシリンジ(フィルグラスチム)	150mg/0.6mL/筒	G-CSF 製剤	三共
筋注用ケナコルト - A(トリアムシノロンアセトニド)	40mg/1mL/V	副腎皮質ホルモン剤	ブリストル・マイヤーズ
ノボリン 10R 注フレックスペン(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ノボリン 50R 注フレックスペン(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ
ランタス注カート(インスリングルアルギン)	300 単位/3mL/筒	持効型溶解インスリンアナログ製剤	アベンティスファーマ

院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
カルバン錠(塩酸ベパントロール)	50mg/錠	α_1 遮断性 β_1 選択的遮断剤	鳥居
クリアミン S 錠	合剤	頭痛治療剤	ガレン
セロシオンカプセル(プロパゲルマニウム)	10mg/Cp	B 型慢性肝炎治療剤	三和化学
チョコラ A 錠(ビタミン A 油)	10,000V.A 単位/錠	ビタミン A 剤	エーザイ
ドオルトン錠(ノルゲストレル, エチニルエストラジオール)	合剤	経口黄体・卵胞ホルモン剤	シェーリング
ノイエル細粒(塩酸セトラキサート)	400mg/g	胃炎・胃潰瘍治療剤	第一
ミフロール錠(カルモフル)	100mg/錠	抗悪性腫瘍剤	シェーリング
ユナシン細粒小児用(トシル酸スルタミシリン)	100mg/g	合成ペニシリン製剤	ファイザー
イオウ・カンフルローション	合剤	皮膚軟化剤	丸石
ベリプラスト P コンビセット	3mL/組	生理的組織接着剤	アベンティスファーマ
エボジン注シリンジ(エボエチンベータ)	750 国際単位/0.5mL/筒	遺伝子組換えヒトエリスロポエチン製剤	中外
オルガラン注(ダナパロイドナトリウム)	1,250 単位/1mL/A	血液凝固阻止剤	オルガノン
ペンフィル 50R 注(ヒトインスリン)	300 単位/3mL/本	インスリン製剤	ノボ・ノルディスクファーマ

在庫がなくなり次第, 処方中止とします。

名称変更医薬品

医薬品名	規格・単位	薬品分類	会社名
マイソリン細粒 プリミドン細粒	995mg/g	抗てんかん剤	大日本

旧名称品の在庫がなくなり次第, 変更とします。

院外採用医薬品(追加分)

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
グルファスト錠(ミチグリニドカルシウム水和物)	10mg/錠	速効型インスリン分泌促進薬	武田
ダイアニール PD-2	[1.5%] 5L/袋	腹膜透析液	バクスター
ダイアニール PD-2	[2.5%] 5L/袋	腹膜透析液	バクスター
ダイアニール PD-4	[1.5%] 1.5L, 2L, 5L/袋	腹膜透析液	バクスター
ダイアニール PD-4	[2.5%] 1.5L, 2L, 5L/袋	腹膜透析液	バクスター
ミッドペリック L	[135] 1.5L/袋	腹膜透析液	テルモ
ミッドペリック L	[250] 1.5L/袋	腹膜透析液	テルモ

製剤変更医薬品

医薬品名	規格・単位	薬品分類	会社名
ハーモニック - F	250mL/瓶 → 200mL/袋	経腸栄養剤	味の素ファルマ

新規院内処方医薬品について

* カルベジロール Carvedilol

【商】アーチスト Artist 第一

内用：錠剤 1錠中 2.5mg

【警】慢性心不全患者に使用する場合には，慢性心不全治療の経験が十分にある医師のもとで使用すること。

【禁】気管支喘息・気管支痙攣のおそれのある患者，糖尿病性ケトアシドーシス・代謝性アシドーシスのある患者，高度の徐脈（著しい洞性徐脈）・房室ブロック（Ⅰ，Ⅱ度）・洞房ブロックのある患者，心原性ショックの患者，強心薬又は血管拡張薬を静脈内投与する必要のある心不全患者，非代償性の心不全患者，肺高血圧による右心不全のある患者，未治療の褐色細胞腫の患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】次の状態で ACE 阻害薬・利尿薬・ジギタリス製剤等の基礎治療を受けている患者：虚血性心疾患又は拡張型心筋症に基づく慢性心不全

【用】1回 1.25mg，1日2回食後投与から開始する。1回 1.25mg，1日2回の用量に忍容性がある場合には，1週間以上の間隔で忍容性をみながら段階的に増量し，忍容性がない場合は減量する。用量の増減は必ず段階的に行い，1回投与量は 1.25mg，2.5mg，5mg 又は 10mg のいずれかとし，いずれの用量においても，1日2回食後投与とする。維持量として1回 2.5～10mg を1日2回食後投与する。年齢，症状により，開始用量はさらに低用量としてもよい。

【副】徐脈，完全房室ブロック，心不全，心停止，肝機能障害，黄疸，アナフィラキシー様症状，発疹，痒痒感，徐脈，動悸，頻脈，心房細動，期外収縮，房室ブロック，脚ブロック，低血圧，血圧上昇，四肢冷感，心胸比増大，狭心症，顔面潮紅，呼吸困難，息切れ，喘息様症状，咳嗽，鼻閉，めまい，不眠，頭痛，失神，眠気，抑うつ，注意力低下，異常感覚，悪心，便秘，下痢，食欲不振，胃部不快感，嘔吐，腹痛，血糖値上昇，尿糖，LDH・総コレステロール・CK 上昇，糖尿病悪化，Al-P・尿酸・K 上昇，Na 低下，低血糖，トリグリセリド上昇，K 低下，

AST・ALT 上昇，BUN・クレアチニン上昇，蛋白尿，尿失禁，頻尿，貧血，白血球・血小板減少，霧視，涙液分泌減少，浮腫，倦怠感，疲労感，胸痛，脱力感，勃起不全，耳鳴，疼痛，発汗，口渇

【妊】未確立，不可 【授】授乳回避

【小】未確立

* 塩酸ラロキシフェン Raloxifene Hydrochloride

【商】エビスタ Evista 中外

内用：錠剤 1錠中 60mg

【禁】深部静脈血栓症・肺塞栓症・網膜静脈血栓症等の静脈血栓塞栓症のある患者又はその既往歴のある患者，長期不動状態（術後回復期，長期安静期等）にある患者，抗リン脂質抗体症候群の患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】閉経後骨粗鬆症

【用】1日1回 60mg を投与する。

【副】静脈血栓塞栓症，血小板数・ヘモグロビン・ヘマトクリット減少，血中 Ca 減少，血清総蛋白・血中アルブミン・血中 Al-P・血清リン減少，腹部膨満，嘔気，おくび，γ-GTP 増加，皮膚炎，痒痒症，膣分泌物，良性の子宮内腔液増加，乳房緊満，下肢痙攣，体重増加，感覚減退，ほてり，多汗，表在性血栓性静脈炎，末梢性浮腫

【妊・授】不可

* 塩酸オキシコドン Oxycodone Hydrochloride

【商】オキシコンチン OxyContin 塩野義

内用：錠剤[㊞]_㊞ 1錠中 40mg

【禁】重篤な呼吸抑制のある患者，重篤な慢性閉塞性肺疾患の患者，気管支喘息発作中の患者，慢性肺疾患に続発する心不全の患者，痙攣状態（てんかん重積症，破傷風，ストリキニーネ中毒）にある患者，麻痺性イレウスの患者，急性アルコール中毒の患者，アヘンアルカロイドに対し過敏症の患者，出血性大腸炎の患者，細菌性下痢のある患者

【効】中等度から高度の疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】1日10～80mgを2回に分割投与する。

【副】ショック，薬物依存，退薬症候（減量・中止），呼吸抑制，錯乱，譫妄，無気肺，気管支痙攣，喉頭浮腫，麻痺性イレウス，中毒性巨大結腸 発疹，不整脈，血圧変動，眠気，眩暈，発汗，幻覚，傾眠，意識障害，しびれ，筋攣縮，頭重感，焦燥，不安，異夢，悪夢，興奮，視調節障害，便秘，嘔気，嘔吐，下痢，食欲不振，胃不快感，口渇，痒痒感，発熱，脱力感，倦怠感，胸部圧迫感，顔面潮紅，排尿障害，頭蓋内圧亢進

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【新・乳・幼・小】未確立

*ファロペネムナトリウム Faropenem Sodium

【商】ファロム Farom 山之内

内用：ドライシロップ剤 1g中100mg

【禁】本剤の成分によるショックの既往歴のある患者 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】毛嚢（包）炎，伝染性膿痂疹，蜂巣炎，リンパ管（節）炎，皮下膿瘍，咽喉頭炎，急性気管支炎，扁桃炎，肺炎，尿路感染症（腎盂腎炎，膀胱炎），猩紅熱，百日咳，中耳炎，副鼻腔炎，歯周組織炎

【用】小児に対して1回5mg/kgを1日3回，用時溶解して投与する。増量の場合は1回10mg/kgを上限とする。

【副】ショック，アナフィラキシー様症状，急性腎不全，偽膜性大腸炎，Stevens-Johnson 症候群，Lyell 症候群，間質性肺炎，肝機能障害，黄疸，無顆粒球症，横紋筋融解症 PIE 症候群 発疹，痒痒，蕁麻疹，発熱，発赤，紅斑，好酸球增多，白血球分画異常，顆粒球数・血小板数変動，AST・ALT・ γ -GTP 上昇，Al-P・ビリルビン・LDH 上昇，BUN・クレアチニン上昇，嘔気，下痢，軟便，腹痛，嘔吐，食欲不振，腹部膨満感，口角炎，口唇炎，胃腸障害，消化不良，胃炎，便秘，カンジダ症，口内炎，ビタミン K・ビタミン B 群欠乏症状，ほてり，頭痛，めまい，眠気，浮腫，口唇乾燥，眼痛，爪変色，倦怠感，しびれ

【未・新】未確立

【貯】遮光

*レバミピド Rebamipide

【商】ムコスタ Mucosta 大塚

内用：顆粒剤 1g中200mg

【禁】本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】○胃潰瘍 ○下記疾患の胃粘膜病変（びらん，出血，発赤，浮腫）の改善：急性胃炎，慢性胃炎の急性増悪期

【用】○胃潰瘍：1回100mgを1日3回，朝，夕及び就寝前に投与する。○急性胃炎，慢性胃炎の急性増悪期の胃粘膜病変の改善：1回100mgを1日3回投与する。

【副】ショック，アナフィラキシー様症状，白血球・血小板減少，肝機能障害，黄疸 発疹，痒痒感，薬疹様湿疹，蕁麻疹，しびれ，めまい，眠気，便秘，腹部膨満感，下痢，嘔気・嘔吐，胸やけ，腹痛，げっぷ，味覚異常，口渇，AST・ALT・ γ -GTP・Al-P 上昇，白血球・顆粒球減少，血小板減少，月経異常，BUN 上昇，浮腫，咽頭部異物感，乳腺腫脹，乳房痛，女性化乳房，乳汁分泌誘発，動悸，発熱，顔面潮紅，舌しびれ，咳，息苦しい，脱毛

【妊】未確立，有益のみ 【授】授乳回避

【未・新・乳・幼・小】未確立

*プロピオン酸ベクロメタゾン

Beclometasone Dipropionate

【商】キューパール Qvar 大日本

外用：吸入剤

1瓶（8.7g）中15mg（1噴霧中100 μ g）

【禁】有効な抗菌剤の存在しない感染症・全身の真菌症の患者，本剤の成分に対して過敏症の既往歴のある患者 結核性疾患・呼吸器感染症の患者，高血圧の患者

【効】気管支喘息

【用】1回100 μ gを1日2回口腔内に噴霧吸入する。1日の最大投与量は800 μ gを限度とする。

【副】蕁麻疹，紅斑，痒痒，浮腫，咳，咽喉頭異和感，口渇，嘔声，咽喉頭刺激感・異物感・疼痛・発赤，感染，口腔カンジダ症，口内炎，味覚障害，呼吸器カンジダ症，口腔・咽頭アスペルギルス症，肺好酸球增多症，嘔気，嘔吐，下痢，腹痛，食欲不振，AST・ALT・ γ -GTP・Al-P 上昇，高血圧，動悸，関節痛，筋肉痛，脱力感，気分不良，頭痛，倦怠感，憂鬱感，尿糖，白血

球増多，リンパ球減少，尿潜血，鼻炎，嗅覚障害

【妊】有益のみ

【未・新・乳・幼・小】未確立

* プロメライン Bromelain

【商】プロメライン マルホ

外用：軟膏剤 1g 中 5 万プロメライン単位

【禁】本剤又は本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】熱傷・褥瘡・表在性各種潰瘍・挫傷・切開傷・切断傷・化膿創などの創傷面の壊死組織の分解，除去，清浄化及びそれに伴う治癒促進

【用】ガーゼ，リントなどに適量の軟膏をのばし潰瘍辺縁になるべく触れないようにして塗布。1 日 1 回交換する。創傷面が清浄化し，新生肉芽組織の再生が認められた場合は使用を中止する。

【副】アナフィラキシーショック 出血，疼痛，創縁のエロジオン，発赤，浮腫，紅斑・水疱，刺激感，痒痒感，皮膚炎

【貯】遮光

【商】ボルヒール Bolheal 藤沢

外用：1mL 中人フィブリノゲン 80mg，人血液凝固因子 75 単位，アプロチニン液 1,000KIE，トロンビン 250 単位，塩化カルシウム 5.9mg (3mL)

【禁】本剤の成分又は牛肺を原料とする製剤（アプロチニン等）に対し過敏症の既往歴のある患者，凝固促進剤（蛇毒製剤）・抗線溶剤・アプロチニン製剤による治療を受けている患者

【効】組織の接着・閉鎖（ただし，縫合あるいは接合した組織から血液，体液又は体内ガスの漏出をきたし，他に適切な処置法のない場合に限る。）

【用】フィブリノゲン凍結乾燥粉末をフィブリノゲン溶解液全量で溶解し，A 液とする。トロンビン凍結乾燥粉末をトロンビン溶解液全量で溶解し，B 液とする。溶解した両液の等容量を接着・閉鎖部位に重層又は混合して適用する。10cm² あたり A 液 B 液各々 1mL を適用する。

【副】ショック 過敏症，発熱，嘔吐，頭痛

【妊】未確立，有益のみ

【未・新】未確立

【貯】10 以下

【商】AK - ソリタ・DL AK-Solita・DL

味の素ファルマ

注射：液剤 A 剤：1 瓶 9L，B 剤：1 瓶 11.5L

【効】慢性腎不全における透析型人工腎臓の灌流液として用いる（無糖の透析液では，血糖値管理の困難な患者及び他の重炭酸型透析液では，高 K 血症，高 Mg 血症の改善が不十分な場合，又は高 Ca 血症を起こすおそれのある場合に用いる）

【用】用時，本剤の B 剤 1 容に対し水 26 容を加えて希釈し，この希釈液 34 容に対して A 剤 1 容を加えて希釈して用いる。用量は透析時間により異なるが，灌流液として 150～300L を用いる。

【副】ショック，血圧低下，血圧上昇，低 K 血症，低血糖，高血糖，骨粗鬆症，骨軟化症，線維性骨炎，異所性石灰沈着症，AST・ALT・LDH 上昇，口渇，意識混濁，痙攣，悪心，嘔吐，頭痛，不快・倦怠

【妊】未確立，有益のみ

【未・新・乳・幼・小】未確立

* インスリンアスパルト Insulin Aspart

【商】ノボラピッド 30 ミックスフレックスペン NovoRapid 30Mix FlexPen

ノボ・ノルディスクファーマ

注射：懸濁剤^㉔ 1 筒（3mL）中 300 単位

（溶解インスリンアスパルト：プロタミン結晶性インスリンアスパルト＝3：7）

【禁】低血糖症状を呈している患者，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】インスリン療法が適応となる糖尿病

【用】初期は 1 回 4～20 単位を 1 日 2 回，朝食直前と夕食直前に皮下注射する。1 日 1 回投与のときは朝食直前に皮下注射する。維持量は 1 日 4～80 単位である。

【副】低血糖，アナフィラキシーショック，血管神経性浮腫 アレルギー，蕁麻疹，痒痒感，血圧降下，発疹，肝機能障害，食欲不振，嘔吐，嘔気，腹痛，治療後神経障害，屈折異常，糖尿病網膜症の顕在化・増悪，注射部位の疼痛・発赤・腫脹・硬結・発疹，注射部位の痒痒感・リポディストロフィー，呼吸困難，血小板減少，発熱，浮腫，倦怠感，めまい，空腹感，多汗，振戦，頭痛

【妊】未確立，注意

【小】未確立，インスリン需要量変化注意

【貯】2～8℃，遮光

* 塩酸モルヒネ Morphine Hydrochloride

【商】プレペノン Prepenon 武田

注射：液剤(麻薬) 1 筒 (10mL) 中 100mg

【禁】重篤な呼吸抑制のある患者，気管支喘息発作中の患者，重篤な肝障害のある患者，慢性肺疾患に続発する心不全の患者，痙攣状態（てんかん重積症，破傷風，ストリキニーネ中毒）にある患者，急性アルコール中毒の患者，アヘンアルカロイドに対し過敏症の患者，出血性大腸炎の患者 細菌性下痢のある患者

【効】激しい疼痛を伴う各種癌における鎮痛

【用】1 回 50～200mg を持続点滴静注又は持続皮下注により投与する。

【副】薬物依存，退薬症候（減量・中止），呼吸抑制，錯乱，譫妄，無気肺，気管支痙攣，喉頭浮腫，麻痺性イレウス，中毒性巨大結腸 不整脈，血圧変動，顔面潮紅，眠気，眩暈，不安，不穩，興奮，視調節障害，発汗，悪心，嘔吐，便秘，口渇，発疹，瘙痒感，投与部位の発赤・腫脹・硬結・疼痛，排尿障害，頭蓋内圧亢進，脱力

【妊】有益のみ 【授】授乳回避

【新・乳】慎重

【貯】遮光

* A 型ボツリヌス毒素 Botulinum Toxin Type A

【商】ボトックス Botox アラガン

注射：(毒) 1 瓶中 100 単位

【警】○本剤の有効成分は，ボツリヌス菌によって産生される A 型ボツリヌス毒素であるため，使用上の注意を熟読した上で，用法及び用量を厳守し，眼瞼痙攣，片側顔面痙攣及び痙性斜頸以外には安全性が確立していないので絶対使用しないこと。○眼瞼痙攣及び片側顔面痙攣に対する投与は，講習を受けた医師で，本剤の安全性及び有効性を十分理解し，本剤の施注手技に関する十分な知識・経験のある医師が行うこと。○痙性斜頸に対する投与は，講習を受けた医師で，本剤の安全性及び有効性を十分理解し，高度な頸部筋の解剖学的知識，筋電図測定技術及び本剤の施注手技に関する十分な知識・経験のある医師が行うこと。○痙性斜頸患者へ

の投与により，呼吸困難に至ったとする報告がある。○眼瞼痙攣患者に，1 回投与量として 100 単位を投与し，投与筋以外の遠隔筋に対する影響と考えられる呼吸困難及び筋無力症が発現したという報告がある。

【禁】全身性の神経筋接合部の障害をもつ患者（重症筋無力症，ランバート・イートン症候群，筋萎縮性側索硬化症等），痙性斜頸においては高度の呼吸機能障害のある患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人及び授乳婦，本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

【効】眼瞼痙攣，片側顔面痙攣，痙性斜頸

○眼瞼痙攣：初回 1.25～2.5 単位/部位を，1 眼あたり眼輪筋 6 部位に筋注する。眼輪筋切除術施行後の患者に投与する場合には，筋電計を用いて注意深く目標とする部位を同定すること。効果は通常 3～4 ヶ月間持続するが，症状再発の場合には再投与する。ただし，2 ヶ月以内の再投与は避けること。再投与は初回投与量の 2 倍までの用量を用いることができるが，本剤の薬理作用である筋麻酔作用が予想以上に強く発現した結果と見られる閉瞼不全，眼瞼下垂等の副作用が現れた場合には，再投与時の用量を適宜減量すること。1 ヶ月に累積で 45 単位を超える投与は避けること。○片側顔面痙攣：以下の用量を痙攣筋に筋注する。痙攣筋が複数ある場合は，分割して投与する。1) 初回投与の場合には合計で 10 単位を投与する。2) 初回投与後 4 週間観察し，効果が不十分な場合には，さらに追加で合計 20 単位を上限として投与することができる。3) 症状再発の場合には，合計で 30 単位を上限として再投与することができる。ただし，2 ヶ月以内の再投与は避けること。○痙性斜頸：以下の用量を緊張筋に筋注する。緊張筋が複数ある場合は，分割して投与する。1) 初回投与の場合には合計で 30～60 単位を投与する。2) 初回投与後 4 週間観察し，効果が不十分な場合には，さらに追加で合計 180 単位を上限として投与することができる。3) 症状再発の場合には，合計で 240 単位を上限として再投与することができる。ただし，2 ヶ月以内の再投与は避けること。

【副】アナフィラキシー様症状，角膜露出，持続性上皮欠損，角膜潰瘍，角膜穿孔，呼吸障害，嚥下障害 頸部筋脱力，閉瞼不全，顔面麻痺，眼瞼下垂，兎眼，口角下垂，眼瞼外反，眼瞼内

反，複視，霧視，羞明，結膜炎，眼の乾燥感，眼脂，流涙，角膜炎，角膜びらん，眼刺激，注射部ひきつり感・腫脹・出血斑・疼痛・熱感，近隣筋の疼痛・緊張亢進，白血球・血小板減少，嚥下障害，食欲不振，嘔気，頭痛，めまい，脱力感，倦怠感，熱感，CK 上昇

【妊・授】不可

【小】未確立

【貯】5 以下

さ，発熱，総コレステロール・LDL コレステロール・トリグリセライド上昇，高 K 血症，体重減少，味覚異常，甲状腺機能異常

【妊・授】〔子宮内膜症・子宮筋腫〕不可

* 酢酸リュープロレリン Leuprorelin Acetate

【商】リュープリン Leuplin 武田

注射：(劇) 1 キット中 1.88mg

【禁】本剤の成分又は合成 LH-RH・LH-RH 誘導体に対して過敏症の既往歴のある患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人，授乳婦，診断のつかない異常性器出血の患者

【効】子宮内膜症，過多月経・下腹痛・腰痛及び貧血等を伴う子宮筋腫における筋腫核の縮小及び症状の改善

【用】○子宮内膜症：4 週に 1 回 3.75mg を皮下注する。体重の 50kg 未満の患者では 1.88mg を投与することができる。初回投与は月経周期 1～5 日目に行う。○子宮筋腫：4 週に 1 回 1.88mg を皮下注する。体重の重い患者・子宮腫大が高度の患者では 3.75mg を投与する。初回投与は月経周期 1～5 日目に行う。

【副】間質性肺炎，アナフィラキシー様症状，肝機能障害，黄疸，糖尿病の発症・増悪，うつ状態 低エストロゲン症状，不正出血，膣乾燥，性交痛，膣炎，帯下増加，卵巣過剰刺激症状，乳房の疼痛・緊満感・萎縮，関節痛，骨疼痛，関節硬直，腰痛，筋肉痛，筋痙攣，骨塩量低下，血清 P 上昇，高 Ca 血症，瘡瘍，皮膚乾燥，脱毛，多毛，爪の異常，眠気，いらいら感，記憶力・注意力低下，知覚異常，発疹，掻痒，AST・ALT・Al-P・LDH・γ-GTP・ビリルビン上昇，黄疸，悪心，嘔吐，食欲不振，腹痛，腹部膨満感，下痢，便秘，口内炎，口渇，心悸亢進，血圧上昇，赤血球増多，貧血，白血球・血小板減少，部分トロンボプラスチン時間延長，頻尿，排尿困難，BUN 上昇，投与部位の疼痛・硬結・発赤，投与部位の膿瘍，疲労，倦怠感，脱力感，口唇・四肢のしびれ，手根管症候群，耳鳴，難聴，胸部不快感，浮腫，体重増加，下肢痛，息苦し